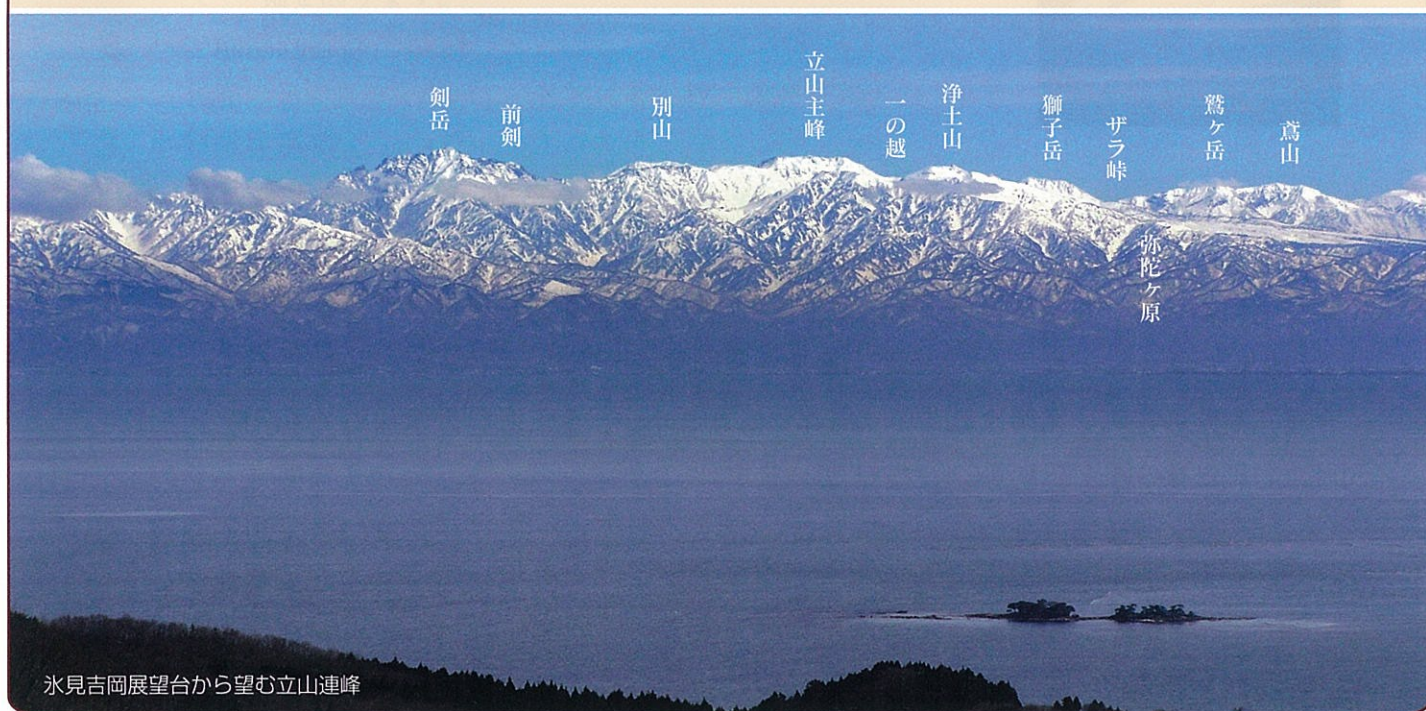


金沢医科大学 氷見市民病院



目次

金沢医科大学氷見市民病院の医療機能について

金沢医科大学病院 病院長 高島茂樹

病院の理念

政策的医療機能

特色ある医療機能

診療体制について

地域連携による地域完結型医療の構築

金沢医科大学氷見市民病院の医療機能について



金沢医科大学病院

病院長 高島 茂樹

私はこのたび金沢医科大学氷見市民病院の病院長を拝命し、平成20年4月1日より診療の最高責任者として新しい病院の運営に携わることとなりました。

氷見市民病院は、指定管理者である金沢医科大学が運営することになりますが、基本的には、現在の市民病院をベースに、大学病院の機能をもった新しい病院を作りたいと考えています。

今後、病院の指針を明確にしていく所存であります。金沢医科大学病院での経験を踏まえ、現時点の私自身の考えをお示ししたいと思います。

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します。

- 患者さま中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

政策的医療機能

1. 24時間365日救急医療の確立

内科・外科を中心に、各専門診療科が連携協力して救急診療に当たります。

休日・時間外救急

- 1) 現行の内科系・外科系の医師2名体制を軸に専門診療科医師へのオン・コール体制を基本とした対応とします。
- 2) 富山県の救急医療計画と連動して、地元医師会および高岡エリアの中核病院との機能分担・連携体制を構築して、1次救急の受け入れ体制の充実と2次救急医療体制の整備を図ります。

2. へき地巡回診療の継続

現在の巡回診療を継続し、住民の利便性、診療効率向上の面で一層の充実を検討します。

3. 小児救急医療について

- 1) 地元医師会・高岡医療圏との連携で対応します。
- 2) 富山大学、金沢大学、本学を救急搬送先としたバックアップ体制を構築します。

4. 人工透析について

氷見地域の通院透析患者の地元透析を推進します。また、透析学会の研修施設に相応しい医療研修施設としての充実・整備を図ります。

- ・透析機器の増設
- ・準夜間透析の継続

5. 健康診断について

各種健康教室や健康診断に加え、保健所や医師会と協力して地域住民検診や出張健康講座などを充実します。

6. 災害時医療への対応

- ・当面は富山県の大規模災害医療計画に沿って、現行の対応体制を継続します。
- ・新病院建設時には、大量被災重症患者受け入れ後方病院として防災機能および災害医療対応機能の充実に配慮します。

特色ある医療機能

- ☐ PCI(冠動脈疾患治療)の実績を踏まえ、さらに機能アップして、将来的にはハートセンターを開設します。
- ☐ がんの治療における集学的医療・チーム医療体制を強化し、将来的にはがんセンターを開設します。
- ☐ 生活習慣病の予防・早期発見を中心とした人間ドックを拡充し、特定健診・特定保健指導と連携した検診体制を確立します。

診療体制について

現在の診療科の継続を基本に氷見市民の医療ニーズ、医師の専門分野を考慮し、4月1日の指定管理業務開始までに発表します。

① 標榜する診療科

② 外来診療体制

外来診療時間

受付時間

外来予約制の導入

検査システム

外来看護体制

外来処方

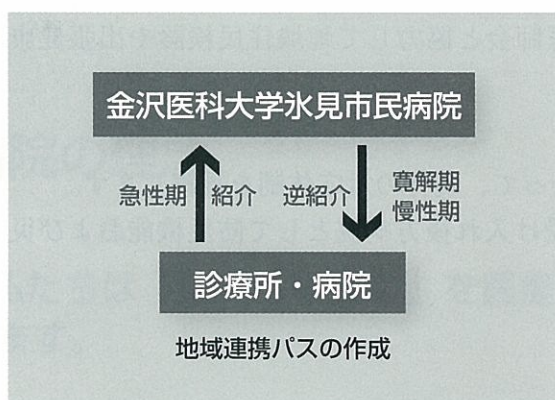
③ 入院診療体制

病棟単位

各病棟の看護体制

地域連携による地域完結型医療の構築

地域の診療所・病院との連携を密にして、できるだけ地域完結型の医療を実施します。



以上、簡単にまとめさせていただきましたが、新しい病院のベースとなるのは、あくまで現在の市民病院であり、現在の市民病院のスタッフの皆さんであります。

力を合わせて氷見市民の医療を支えていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上は、平成20年2月5日開催の氷見市行政改革推進市民懇話会・氷見市民病院経営改善検討市民委員会合同会議（於 氷見市ふれあいスポーツセンター）講演内容によるものです。